

■山野千枝子 美容師。丸ビルに美容院開業し、初のマネキンクラブなど、美容界向上発展に貢献した。

やまのちえこ

日清戦争終・1895＝ 横浜市で、鉄道局に努める三沢寛蔵の娘に生まれる。

日露戦争始・1904＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝10歳：

長兄は貿易業、次兄はドレスメーカーという時代の先端をいく仕事をしていて、外国に憧れを抱くが、

父親の失業で、進学を諦め、一旦は三井物産横浜支店に勤めるも、向学心を捨てることができず、神戸にいた長兄を頼って、神戸家政女学校へ入学、

明治天皇没・1912＝17歳：

大正政変・・1913＝18歳：神戸高等家政女学院を卒業。\_お見合いで結婚した夫山野末松とともに、アメリカニューヨークに渡る。

米国女性と日本女性の美容に対する考えの違いを目の当たりにして、美容師を志すようになり、自らの判断で道を拓こうと、働きながら\_ワナメーカー＝ビューティースクールに通って、美容師となる。

幾つもの美容院で修行を積み、化粧品や当時のニューヨークでも珍しかったパーマネント技術や、経営一般についても習得、\_自信を持って、

原敬首相暗殺1921＝26歳：

水平社結成・1922＝27歳：\*帰国すると、東京丸ビルに{丸ノ内美容院}を開業。純米国式的美容室は大変な人気を呼び、“美容院”“美容師”という言葉を日本で始めて使用、まさに美容院の始まりとなった。

世界恐慌・・1929＝34歳：\*大日本美容協会を組織。ファッションモデルの前身となるマネキンクラブを創設、

満州事変・・1931＝36歳：

成功を妬むものから、モデルたちから搾取しているなどと中傷や誹謗にあつて、美容協会から除名され、

帝人疑獄事件1934＝39歳：

函館大火に際して支援物資を送っても、名誉欲からのものだと曲解されるほど、冷たく扱われ、美容協会と訣別し、独自の道を歩もうと、各地に美容院を開き、パーマネント、のちコールドパーマを普及させた。薬用化粧料の製造販売・赤外線による美顔術・脱毛法・美容体操、美容整体術などを発表。

日中戦争始・1937＝42歳：

大政翼賛会・1940＝45歳：

日米開戦・・1941＝46歳：

パーマをかけているだけで非国民・国賊とののしられた戦時中を過ごし、

敗戦・・・・1945＝50歳：

新憲法公布・1946＝51歳：

戦後、\_新橋に{山野千枝子ビューティー・サロン}を開店するとともに、婦人の社会的地位の向上を目指して婦人実業家たちと婦人経済連盟を結成。

三大事件・・1949＝54歳：

朝鮮戦争始・1950＝55歳：

独立回復・・1951＝56歳：

\_美容師団体の統一を願い、東京都美容師組合連合会を結成し、

自衛隊発足・1954＝59歳：

\_美容師の健康を守るために、東京美容国民健康保険組合をつつて、理事長に就任するなど、美容界に大きく貢献した。

インスタントラーメン・1958＝63歳：

安保闘争・・1960＝65歳：\_藍綬褒章・厚生大臣賞をうける。

美濃部都知事1967＝72歳：勲五等宝冠章を受章。

大阪万博・・1970＝75歳：\_没した。

インターネット「神奈川の偉人」、「女たちの20世紀・100人」、